
3 入学後の 学習について

社会福祉学科の学び

福祉心理学科の学び

履修登録

レポート学習

科目修了試験

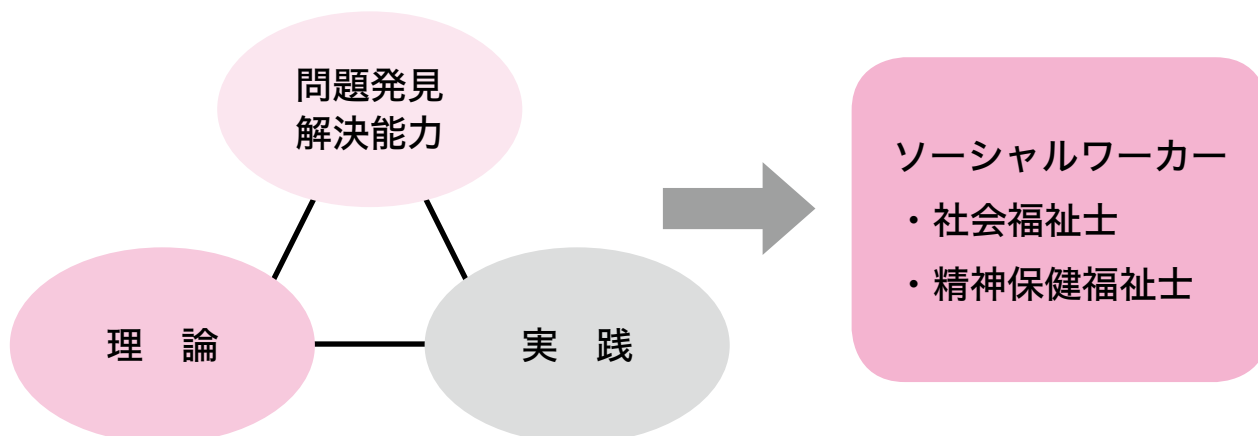
スクーリング

実習・卒業

社会福祉学科の学び

「問題発見・解決能力」を身につけたソーシャルワーカー

本学科では、理論と実践の学びから問題を発見し、それを解決できる能力を身につけ支援できるソーシャルワーカーを育成します。単に知識を学ぶのではなく、ロールプレイや実習を通じての実践力を学び、現場を意識した学びを提供します。



学べる科目を一部紹介します

「社会福祉原論」

「社会福祉とは何のため・誰のためにあるのか」自らの社会福祉観を問い直しながら、社会福祉のあるべき姿を問うていきます。

「児童・家庭福祉論」

子どもの福祉の実現には、子どもを取り巻く家庭や環境の福祉も重要です。児童虐待、DV、貧困などの実態と解決策を学びます。

「就労支援サービス論」

労働を福祉的視点から理解し、トータルな社会福祉援助として「就労支援」をとらえ、支援の現状と課題、有効な支援策を考えます。

「社会福祉援助技術総論」

「ソーシャルワーク」「社会福祉士」「相談援助」とは何か。年々多様化する人々のニーズに応えるにはどうあるべきかを考えます。

「介護概論」

介護の概念、社会福祉の基本理念を踏まえたうえで、人間の尊厳を重視した高齢期の生活支援のあり方、介護の本質を再考します。

「更生保護制度論」

犯罪者・非行少年の再犯防止、改善・更生を目的とした「更生保護制度」の制度趣旨と社会福祉との関係性、運用方法を学びます。

「精神保健福祉の理論」

「精神保健福祉とは」「精神障害とは」を考えながら、わが国の精神障害者福祉の歴史的変遷と理念について理解を深めます。

「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」

精神保健福祉相談援助の基盤として、精神保健福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、理念を学びます。

「社会保障論」

私たちの生活を守る幅広い社会保障制度(年金・生活保護・医療・雇用ほか)の意義・役割や制度の内容を学びます。

1 授業科目一覧（社会福祉学科）

卒業要件単位は124単位以上（スクーリング単位30単位以上）です。

配当年次 1年次入学者は入学1年めに「1年以上」の科目が履修可能

2年次編入学者は入学1年めに「1年以上」「2年以上」の科目が履修可能

3年次編入学者は入学1年めに「1年以上」「2年以上」「3年以上」の科目が履修可能

履修方法 p.9参照

オンデマンド欄 マーク オンデマンド・スクーリング実施科目

スクーリング単位 p.68参照

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目		備考
						社福	精保	
（共通基礎科目）1年次入学者18単位以上を選択履修 2・3年次編入学者履修不要								
禅のこころ	1年以上	2	R			社会福祉士国家試験受験資格（p. 72）参照	精神保健福祉士国家試験受験資格（p. 94）参照	
ボランティア論	1年以上	2	R or SR		1			
科学的な見方・考え方	1年以上	4	R or SR		2			
基礎演習	1年以上	1	S		1			
情報処理Ⅰ	1年以上	2	R or SR		1			
福祉と経済	1年以上	4	R or SR		2			
法の基礎（日本国憲法を含む）	1年以上	4	R or SR		2			（注1）
人間と教育	1年以上	4	R or SR		2			
政治学の基礎	1年以上	2	R or SR		1			
人権と福祉	1年以上	1	S		1			
社会福祉学入門	1年以上	1	R or SR		1			
生命の科学	1年以上	4	R or SR		2			（注1）
健康科学	1年以上	2	R					
コミュニケーション英語	1年以上	2	SR		1			（注2）
単位互換協定にもとづく認定単位	1年以上	(10)	—		(10)			
（専門必修科目）16単位必修								
社会福祉原論（職業指導を含む）	2年以上	4	R or SR		2	●	○	
地域福祉論	2年以上	4	R or SR		2	●	○	
社会保障論	3年以上	4	R or SR		2	●	○	
公的扶助論	3年以上	2	R or SR		1	●	○	
福祉法学	2年以上	2	R or SR		1	●	○	
（専門選択科目）1年次入学者 90単位以上を選択履修 2年次編入学者 78単位以上を選択履修 3年次編入学者 46単位以上を選択履修 ※ 共通基礎科目で18単位以上修得した単位は専門選択科目の単位数に含めます								
福祉社会学	1年以上	4	R or SR		2	●	○	
福祉心理学	1年以上	2	R or SR		1	●	○	

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクリーニング単位	資格指定科目		備 考
						社福	精保	
医学一般	2 年以上	2	R or SR		1	●	○	
福祉行財政と福祉計画	3 年以上	2	R or SR		1	●	○	
障害者福祉論	1 年以上	4	R or SR		2	●	○	
保健医療サービス論	3 年以上	2	R or SR		1	●	○	
社会福祉援助技術総論	2 年以上	4	R or SR		2	●		
社会福祉援助技術論 A	2 年以上	2	R or SR		1	●		
社会福祉援助技術論 B	2 年以上	2	R or SR		1	●		(注 7)
社会調査の基礎	3 年以上	2	R or SR		1	●		
福祉経営論	3 年以上	2	R or SR		1	●		
高齢者福祉論	1 年以上	2	R or SR		1	●		
介護概論	1 年以上	2	R or SR		1	●		(注 7)
児童・家庭福祉論	1 年以上	4	R or SR		2	●		
更生保護制度論	2 年以上	1	R or SR		1	●		(注 7)
就労支援サービス論	3 年以上	1	S		1	●		
社会福祉援助技術演習 A	2 年以上	3	SR		1	●		
社会福祉援助技術演習 B	3 年以上	3	SR		1	●		(注 7)
社会福祉援助技術演習 C	4 年	3	SR		1	●		(注 7)
社会福祉援助技術実習指導 A	2 年以上	1	SR		2	●		
社会福祉援助技術実習指導 B	4 年	2	SR			●		(注 7)
社会福祉援助技術実習	4 年	4	実習科目			●		(注 7)
精神保健学	2 年以上	4	R or SR		1		○	
精神医学	3 年以上	4	R or SR		2		○	
精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	2 年以上	2	R or SR		1		○	
精神保健福祉援助技術総論Ⅱ	2 年以上	2	R or SR		1		○	(注 7)
精神保健福祉援助技術各論	2 年以上	2	R or SR		1		○	(注 7)
精神保健福祉の理論	2 年以上	2	R or SR		1		○	
精神科リハビリテーション学	3 年以上	4	R or SR		2		○	
精神保健福祉のサービス	2 年以上	2	R or SR		1		○	
精神保健福祉の制度	3 年以上	2	R or SR		1		○	(注 7)
精神障害者の生活支援システム	2 年以上	1	R				○	(注 7)
精神保健福祉援助演習 A	2 年以上	1	SR		1		○	
精神保健福祉援助演習 B	3 年以上	2	SR		1		○	(注 7)
精神保健福祉援助演習 C	4 年	2	SR		1		○	(注 7)
精神保健福祉援助実習指導 A	3 年以上	1	SR		1		○	
精神保健福祉援助実習 A	3 年以上	2	実習科目				○	(注 7)
精神保健福祉援助実習指導 B	4 年	1	SR		1		○	(注 7)

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目		備 考
						社福	精保	
精神保健福祉援助実習B	4年	2	実習科目				○	(注7)
福祉ボランティア活動	1年以上	1	R					
統計情報を見る眼	2年以上	2	R or SR		1			(注1)
発達障害者の地域支援	1年以上	1	S		1			(注1)
認知症介護論	1年以上	1	S		1			(注1)
知的障害者福祉論	2年以上	2	R or SR		1			
発達障害者の理解と支援	2年以上	2	SR		1			
ケアマネジメント論	3年以上	4	R or SR		1			(注2)
NPO論	1年以上	2	R or SR		1			
福祉リスクマネジメント	2年以上	4	R or SR		2			(注1)
公衆衛生学	2年以上	4	R					
福祉用具と生活支援	2年以上	4	R or SR		2			(注1)
リハビリテーション論	2年以上	2	R or SR		1			(注2)
医療・福祉経済論	2年以上	2	R or SR		1			(注1)
福祉思想論	1年以上	2	R					
家族法	2年以上	4	R or SR		2			(注2)
社会福祉法制	3年以上	4	R or SR		2			(注2)
国際福祉論	3年以上	4	R					
障害の理解	1年以上	1	R					(注4)
生活行動と人体	2年以上	2	R					(注4)
介護技術	1年以上	2	SR		1			(注4)(注7)
心理学概論	1年以上	4	R or SR		2			
社会心理学	1年以上	2	R or SR		1			
産業心理学	1年以上	2	SR		1			
人間関係論	1年以上	1	S		1			
生涯発達心理学	1年以上	4	R or SR		2			(注5)
老年心理学	1年以上	4	R or SR		2			
教育心理学	1年以上	2	R or SR		1			
障害児の心理	2年以上	4	R or SR		2			(注4)
ライフサイクルと福祉心理学	1年以上	1	S		1			(注7)
臨床心理学	2年以上	4	R or SR		2			
犯罪非行心理学	2年以上	2	SR		1			
カウンセリングⅠ	1年以上	1	S		1			
カウンセリングⅡ	1年以上	1	S		1			
カウンセリング演習Ⅰ	2年以上	1	S		1			(注7)
カウンセリング演習Ⅱ	2年以上	1	S		1			

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目		備 考
						社福	精保	
特講・社会福祉学 5 (社会福祉士国家試験対策講座)	4 年	1	R					
特講・社会福祉学 6 (精神保健福祉士国家試験対策講座)	4 年	1	R					
特講・福祉心理学 4 (スクール・カウンセリング)	1 年以上	1	S	📺	1			(注 2) (注 5)
特講・福祉心理学 5 (自分さがしの心理学)	1 年以上	1	S		1			(注 1)
特講・福祉心理学 8 (ストレスとつきあう心理学)	1 年以上	1	S		1			(注 2)
特講・福祉心理学 9 (コミュニティ心理学)	1 年以上	1	S	📺	1			(注 1) (注 5)
卒業研究	4 年	8	卒業研究					
単位互換協定にもとづく 認定単位	1 年以上	(20)	—		(20)			

(注 1) 2017年度会場スクーリング開講せず (2018年度は開講予定)

(注 2) 2018年度会場スクーリング開講せず (2017年度は開講)

(注 3) 2017年度まで開講

(注 4) 2018年度まで開講

(注 5) オンデマンド・スクーリングは2017年度まで開講

(注 6) オンデマンド・スクーリングは2018年度まで開講

(注 7) 他の科目とセット履修が必要な科目

※上記以外にも年度により開講されない科目があります。

※2018年度以降にスクーリング単位が変更予定の科目があります。

2 履修モデル

卒業までにどのような科目を履修するかモデル例です (この通り履修する必要はありません)。
1 年次入学者 1 年めの学習計画の一例は p.52 をご覧ください。3 年次編入学者は、科目区分ごとに p.31 記載の単位を修得すればよく、p.59、79～80、105～108などを参考にしてください。

() 内は単位数

■社会福祉学科 履修モデル例

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目
1 年次 (35単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(1) 人間と教育(4) 社会福祉学入門(1) 他 4 単位履修		福祉社会学(4) 福祉心理学(2) 児童・家庭福祉論(4) 心理学概論(4) 高齢者福祉論(2) 介護概論(2) 障害者福祉論(4) 障害の理解(1)
2 年次 (34単位)	人権と福祉(1) 他 5 単位履修	福祉法学(2) 社会福祉原論(職業指導を含む)(4) 地域福祉論(4)	医学一般(2) 家族法(4) NPO論(2) 精神保健福祉の理論(2) 社会福祉援助技術総論(4) 福祉ボランティア活動(1) 特講・社会福祉学(1) 社会心理学(2)
3 年次 (32単位)		社会保障論(4) 公的扶助論(2)	福祉用具と生活支援(4) 生涯発達心理学(4) ケアマネジメント論(4) 保健医療サービス論(2) 認知症介護論(1) 医療・福祉経済論(2) 福祉経営論(2) 社会福祉援助技術論 A(2) 社会福祉援助技術論 B(2) 知的障害者福祉論(2) 人間関係論(1)
4 年次 (23単位)			福祉リスクマネジメント(4) 統計情報を見る眼(2) 老年心理学(4) リハビリテーション論(2) 社会福祉法制(4) 国際福祉論(4) 特講・社会福祉学(1) 福祉思想論(2)
合計 (124単位)	18単位	16単位	90単位

■社会福祉学科（社会福祉士国家試験受験資格取得）履修モデル例

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目（指定科目）	専門選択科目
1 年次 (37単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(1) 人間と教育(4) 社会福祉学入門(1) 他 6 単位履修		福祉社会学(4) 福祉心理学(2) 児童・家庭福祉論(4) 高齢者福祉論(2) 障害者福祉論(4) 介護概論(2)	心理学概論(4) 福祉ボランティア活動(1)
2 年次 (40単位)	人権と福祉(1) 他 3 単位履修	福祉法学(2) 社会福祉原論(職業指導を含む)(4) 地域福祉論(4)	医学一般(2) 更生保護制度論(1) 社会福祉援助技術論 A(2) 社会福祉援助技術論 B(2) 社会福祉援助技術演習 A(3) 社会福祉援助技術実習指導 A(1) 社会福祉援助技術総論(4)	福祉思想論(2) NPO論(2) 発達障害者の地域支援(1) 福祉用具と生活支援(4) 人間関係論(1) ライフサイクルと福祉心理学(1)
3 年次 (29単位)		社会保障論(4) 公的扶助論(2)	社会福祉援助技術演習 B(3) 社会調査の基礎(2) 福祉行政と福祉計画(2) 福祉経営論(2) 保健医療サービス論(2) 就労支援サービス論(1)	医療・福祉経済論(2) 知的障害者福祉論(2) 老年心理学(4) 認知症介護論(1) リハビリテーション論(2)
4 年次 (18単位)			社会福祉援助技術演習 C(3) 社会福祉援助技術現場実習指導 B(2) 社会福祉援助技術現場実習(4)	福祉リスクマネジメント(4) ケアマネジメント論(4) 特講・社会福祉学 5(1)
合計 (124単位)	18単位	16単位	54単位	36単位

3 年次編入学者は、これらの科目を履修すれば、卒業もでき、社会福祉士国家試験受験資格取得も可能です。
3 年次編入学者の入学 1 年めの学習計画例は、p.79～80もご覧ください。

■社会福祉学科（精神保健福祉士国家試験受験資格取得）履修モデル例

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目（指定科目）	専門選択科目
1 年次 (35単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(1) 人権と福祉(1) 科学的な見方・考え方(4) 社会福祉学入門(1) 他 9 単位履修		福祉社会学(4) 障害者福祉論(4) 福祉心理学(2)	心理学概論(4) 福祉ボランティア活動(1) 高齢者福祉論(2)
2 年次 (37単位)		社会福祉原論(職業指導を含む)(4) 地域福祉論(4) 福祉法学(2)	医学一般(2) 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ・Ⅱ(4) 精神保健福祉援助技術各論(2) 精神保健福祉の理論(2) 精神保健福祉のサービス(2) 精神保健学(4) 精神保健福祉援助演習 A(1)	知的障害者福祉論(2) 社会福祉援助技術総論(4) 社会福祉援助技術論 A(2) 社会福祉援助技術論 B(2)
3 年次 (35単位)		社会保障論(4) 公的扶助論(2)	福祉行政と福祉計画(2) 保健医療サービス論(2) 精神保健福祉の制度(2) 精神医学(4) 精神科リハビリテーション学(4) 精神障害者の生活支援システム(1) 精神保健福祉援助演習 B(2) 実習指導 A(1) 実習 A(2)	ケアマネジメント論(4) 社会心理学(2) リハビリテーション論(2) 認知症介護論(1)
4 年次 (17単位)			精神保健福祉援助演習 C(2) 精神保健福祉援助実習指導 B(1) 実習 B(2)	介護概論(2) 福祉経営論(2) NPO論(2) ライフサイクルと福祉心理学(1) 老年心理学(4) 特講・社会福祉学 6(1)
合計 (124単位)	18単位	16単位	52単位	38単位

3 年次編入学者は、これらの科目を履修すれば、卒業もでき、精神保健福祉士国家試験の受験資格取得も可能です。
3 年次編入学者の入学 1 年めの学習計画例は、p.105～108もご覧ください。

3 社会福祉学科 学習計画例

(1) 1年次入学者の学習計画例

ここに掲載した学習計画は、「4月生・仙台でスクーリングを受講する場合」の一例です。履修登録科目、スクーリング受講会場、オンデマンド・スクーリングの利用の有無、科目修了試験での単位修得科目により、さまざまなケースが考えられます。

この例では、p.50記載の履修モデルをもとに、1年間に共通基礎科目12単位、専門選択科目23単位、合計35単位、①高齢者福祉論、②福祉心理学、③ボランティア論、④基礎演習、⑤介護概論、⑥福祉社会学、⑦障害者福祉論、⑧科学的な見方・考え方、⑨人間と教育、⑩児童・家庭福祉論、⑪心理学概論、⑫社会福祉学入門、⑬障害の理解の履修登録をした場合の一例です(科目は学習順)。

この例では1年間でスクーリング単位が14単位修得できます。

科目名	修得単位数		スクーリング 受講日	レポートA (1・2単位め)	レポートB (3・4単位め)	科目修了試験 受験日
	科目単位	スクーリング 単位				
高齢者福祉論	2	1	4/22・23	5月中旬	—	—
福祉心理学	2	1	5/20・21	6月中旬	—	—
ボランティア論	2		—	6/7	—	6/24
基礎演習	1	1	6/3・4	—		—
介護概論	2		—	7/12	—	7/29
福祉社会学	4	2	7/15～17	8月中旬		—
障害者福祉論	4	2	8/19～21	9月中旬		—
科学的な見方・考え方	4	2	9/22～24	10月中旬		—
人間と教育	4		—	10/4		10/21
児童・家庭福祉論	4	2	11/3～5	12月上旬		—
社会福祉学入門	1	1	12/9・10	1月上旬	—	—
心理学概論	4	2	1/6～8	2月上旬	—	—
障害の理解	1		—	12/13	—	1/13
合計単位数	35	14				

※ スクーリング受講日が変更となる場合がありますので、入学後『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

(2) 3年次編入学者の学習計画例

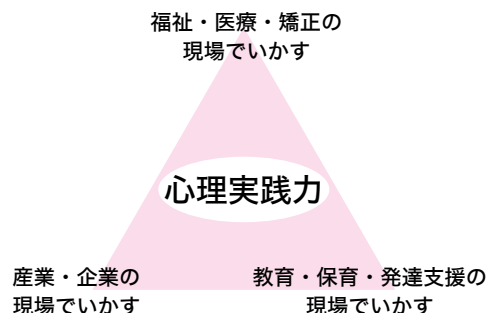
社会福祉士国家試験受験資格取得希望者 p.79～80参照

精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者 p.105～108参照

福祉心理学科の学び

特色をいかした学びで「心理実践力」を修得します

- ・人間の行動は、人と環境との相互作用によって決定される。
- ・人間の「発達」を理解し、心理的援助方法を探る。
- ・心の悩みを抱えた人に、どのようなサポートができるか、基本的な「理論」と「技術」を学ぶ。



幅広い学び

臨床心理、発達心理、社会心理を中心に特定の領域に偏ることなく、広く心理学を学んでいきます。それを通して、多様な背景をもった人々とそれぞれの実情にあわせて適切にかかわる力を身につけます。

実践につながる学び

人の心のしくみがわかり、人の心に向き合える力など、さまざまな現場で自己と他者の理解や支援に役立つ「心理実践力」を身につけます。理論と実践を融合させ、人々の幸福に貢献できる力を養います。

専門性+αの学び

心理学という「人を理解するための中核的な学問」を学ぶことで、皆さんがこれまで培ってきた専門性にさらに付加価値をつけることができます。卒業後、大学院に進学することにより、心理学の専門家としての道をめざすことも可能です。

学べる科目を一部紹介します

「福祉心理学」

高齢者の生きがいや徘徊などを題材に、人々のQOL向上、幸せの追求を援助する福祉心理学的な方法について考えていきます。

「心理学概論」

自分や他者の心を理解することができます。多くの場面で活用できます。日常生活のなかから、心理学の基本を学びます。

「生涯発達心理学」

「発達は積み重ねである」「人は絶えず変化する存在である」ととらえ、人の一生の変化の姿とその要因を明らかにします。

「臨床心理学」

苦しみを抱え、抱えきれずに立ち尽くしている方が、自分らしい道を歩き出すための心理的援助を提供するための基礎を学びます。

「社会心理学」

人間関係や集団の中での行動や心の動きを学びます。客観的に人間関係をとらえ、自分自身のものの見方を見直す機会にもなります。

「人間関係論」

人間関係を悪化させてしまう要因や誰しもが有する認知的な歪みについて理解し、自分の人間関係を分析できるよう学びます。

「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」

科学的な手法のひとつである実験法の基礎を、それぞれ4つずつの実験を体験することで学びます。

「カウンセリングⅠ」

カウンセリングの基礎や傾聴の技法、援助の心構えや留意事項などを学ぶとともに、自分自身を振り返り、自己理解も深めます。

「心理療法」

複雑な心の働きに合わせ、心理療法も多種多様です。各療法の基本的枠組みと各々の理論的背景、アプローチの違いを学習します。

1 授業科目一覧（福祉心理学科）

卒業要件単位は124単位以上（スクーリング単位30単位以上）です。

配当年次 1年次入学者は入学1年めに「1年以上」の科目が履修可能

2年次編入学者は入学1年めに「1年以上」「2年以上」の科目が履修可能

3年次編入学者は入学1年めに「1年以上」「2年以上」「3年以上」の科目が履修可能

履修方法 p.9参照

オンデマンド欄  マーク オンデマンド・スクーリング実施科目

スクーリング単位 p.68参照

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目 認定心理士	備考
(共通基礎科目) 1年次入学者 18単位以上を選択履修 2・3年次編入学者 履修不要							
禅のこころ	1年以上	2	R			認定心理士(●は必修、◎から2単位から総計36単位必要、詳しくはp.118参照)●◎○	
ボランティア論	1年以上	2	R or SR		1		
科学的な見方・考え方	1年以上	4	R or SR		2		
基礎演習	1年以上	1	S		1		
情報処理Ⅰ	1年以上	2	R or SR		1		
福祉と経済	1年以上	4	R or SR		2		
法の基礎(日本国憲法を含む)	1年以上	4	R or SR		2		(注1)
人間と教育	1年以上	4	R or SR		2		
政治学の基礎	1年以上	2	R or SR		1		
人権と福祉	1年以上	1	S		1		
社会福祉学入門	1年以上	1	R or SR		1		
生命の科学	1年以上	4	R or SR		2		(注1)
健康科学	1年以上	2	R				
コミュニケーション英語	1年以上	2	SR		1	(注2)	
単位互換協定にもとづく認定単位	1年以上	(10)	—		(10)		
(専門必修科目) 18単位必修							
福祉心理学	1年以上	2	R or SR		1	●	
心理学概論	1年以上	4	R or SR		2	●	
心理学研究法Ⅰ	2年以上	2	R or SR		1	●	
社会心理学	1年以上	2	R or SR		1	●	
生涯発達心理学	1年以上	4	R or SR		2	●	(注5)
臨床心理学	2年以上	4	R or SR		2	●	
(専門選択必修科目) 2単位以上選択履修							
心理学実験Ⅰ	1年以上	2	SR		1	●	
心理学実験Ⅱ	1年以上	2	SR		1	●	
(専門選択科目A群) 34単位以上選択履修 ※ 専門選択必修科目で規定の単位以上修得した単位は専門選択科目A群の単位数に含めます							
心理学研究法Ⅱ	2年以上	2	SR		1	●	
家族心理学	1年以上	2	R or SR		1	◎	
産業心理学	1年以上	2	SR		1	◎	
人間関係論	1年以上	1	S		1	◎	

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目	備 考
						認定心理士	
環境心理学	2年以上	2	R or SR		1	◎	(注4)
児童青年心理学	1年以上	4	R or SR		2	○	
老年心理学	1年以上	4	R or SR		2	○	
教育心理学	1年以上	2	R or SR		1	○	
障害児の心理	2年以上	4	R or SR		2	○	(注4)
人格心理学	1年以上	4	R or SR		2	○	(注1)(注7)
心理アセスメント	1年以上	2	R or SR		1	○	(注2)
ライフサイクルと福祉心理学	1年以上	1	S		1		(注7)
心理療法	2年以上	4	R or SR		2	○	
心理療法各論	2年以上	1	R				(注7)
犯罪非行心理学	2年以上	2	SR		1	○	
カウンセリングⅠ	1年以上	1	S		1	○	
カウンセリングⅡ	1年以上	1	S		1	○	
カウンセリング演習Ⅰ	2年以上	1	S		1	○	(注7)
カウンセリング演習Ⅱ	2年以上	1	S		1	○	
認知心理学	2年以上	4	R or SR		2	○	(注5)
学習心理学	2年以上	2	R or SR		1	○	
特講・福祉心理学4(スクール・カウンセリング)	1年以上	1	S		1		(注2)(注5)
特講・福祉心理学5(自分さがしの心理学)	1年以上	1	S		1		(注1)
特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学)	1年以上	1	S		1		(注2)
特講・福祉心理学9(コミュニティ心理学)	1年以上	1	S		1		(注1)(注5)
卒業研究	4年	8	卒業研究			△	
(専門選択科目B群) 1年次入学者 52単位以上を選択履修 2年次編入学者 40単位以上を選択履修 3年次編入学者 8単位以上を選択履修 ※共通基礎科目、専門選択科目A群で規定の単位以上修得した単位は専門選択科目B群の単位数に含めます							
社会福祉原論(職業指導を含む)	2年以上	4	R or SR		2		
地域福祉論	2年以上	4	R or SR		2		
社会保障論	3年以上	4	R or SR		2		
公的扶助論	3年以上	2	R or SR		1		
福祉法学	2年以上	2	R or SR		1		
福祉社会学	1年以上	4	R or SR		2		
医学一般	2年以上	2	R or SR		1		
福祉行財政と福祉計画	3年以上	2	R or SR		1		
障害者福祉論	1年以上	4	R or SR		2		
保健医療サービス論	3年以上	2	R or SR		1		
社会福祉援助技術総論	2年以上	4	R or SR		2		
社会福祉援助技術論A	2年以上	2	R or SR		1		
社会福祉援助技術論B	2年以上	2	R or SR		1		(注7)
社会調査の基礎	3年以上	2	R or SR		1		
福祉経営論	3年以上	2	R or SR		1		
高齢者福祉論	1年以上	2	R or SR		1		

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目	備 考
						認定心理士	
介護概論	1年以上	2	R or SR		1		(注7)
児童・家庭福祉論	1年以上	4	R or SR		2		
更生保護制度論	2年以上	1	R or SR		1		(注7)
就労支援サービス論	3年以上	1	S		1		
精神保健学	2年以上	4	R or SR		1		
精神医学	3年以上	4	R or SR		2	△	
精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	2年以上	2	R or SR		1		
精神保健福祉援助技術総論Ⅱ	2年以上	2	R or SR		1		(注7)
精神保健福祉援助技術各論	2年以上	2	R or SR		1		(注7)
精神保健福祉の理論	2年以上	2	R or SR		1		
精神科リハビリテーション学	3年以上	4	R or SR		2		
精神保健福祉のサービス	2年以上	2	R or SR		1		
精神保健福祉の制度	3年以上	2	R or SR		1		(注7)
精神障害者の生活支援システム	2年以上	1	R				(注7)
福祉ボランティア活動	1年以上	1	R				
統計情報を見る眼	2年以上	2	R or SR		1		(注1)
発達障害者の地域支援	1年以上	1	S		1		(注1)
認知症介護論	1年以上	1	S		1		(注1)
知的障害者福祉論	2年以上	2	R or SR		1		
発達障害者の理解と支援	2年以上	2	SR		1		
ケアマネジメント論	3年以上	4	R or SR		1		(注2)
NPO論	1年以上	2	R or SR		1		
福祉リスクマネジメント	2年以上	4	R or SR		2		(注1)
公衆衛生学	2年以上	4	R				
福祉用具と生活支援	2年以上	4	R or SR		2		(注1)
リハビリテーション論	2年以上	2	R or SR		1		(注2)
医療・福祉経済論	2年以上	2	R or SR		1		(注1)
福祉思想論	1年以上	2	R				
家族法	2年以上	4	R or SR		2		(注2)
社会福祉法制	3年以上	4	R or SR		2		(注2)
国際福祉論	3年以上	4	R				
障害の理解	1年以上	1	R				(注4)
生活行動と人体	2年以上	2	R				(注4)
介護技術	1年以上	2	SR		1		(注4)(注7)
単位互換協定にもとづく認定単位	1年以上	(20)	—		(20)		

(注1) 2017年度会場スクーリング開講せず(2018年度は開講予定)

(注2) 2018年度会場スクーリング開講せず(2017年度は開講)

(注3) 2017年度まで開講

(注4) 2018年度まで開講

(注5) オンデマンド・スクーリングは2017年度まで開講

(注6) オンデマンド・スクーリングは2018年度まで開講

(注7) 他の科目とセット履修が必要な科目

※上記以外にも年度により開講されない科目があります。

※2018年度以降にスクーリング単位が変更予定の科目があります。

2 履修モデル

■ 1 年次入学者 履修モデル例

卒業までにどのような科目を履修するかモデル例です。1 年生から履修可能な専門科目も多いため、この履修モデルにかかわらず関心のある心理学関連科目から学習することも可能です。

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択必修科目	専門選択科目 A 群	専門選択科目 B 群
1 年次 (37単位)	科学的な見方、考え方(4) 社会福祉学入門(1) 基礎演習(1) 他 8 単位履修	心理学概論(4) 福祉心理学(2) 社会心理学(2)		教育心理学(2) 心理アセスメント(2) 特講・福祉心理学(1) カウンセリングⅠ(1)	福祉社会学(4) 児童・家庭福祉論(4) 福祉ボランティア活動(1)
2 年次 (35単位)	4 単位履修	生涯発達心理学(4)	心理学実験Ⅰ(2)*	産業心理学(2) 家族心理学(2) カウンセリングⅡ(1) 老年心理学(4) 特講・福祉心理学(1)	社会福祉援助技術総論(4) 高齢者福祉論(2) 介護概論(2) 障害者福祉論(4) 統計情報を見る眼(2) 特講・社会福祉学(1)
3 年次 (27単位)		臨床心理学(4) 心理学研究法Ⅰ(2)	心理学実験Ⅱ(2)*	認知心理学(4) 人格心理学(4) 心理学研究法Ⅱ(2) 人間関係論(1) カウンセリング演習Ⅱ(1)	社会福祉原論(職業指導を含む)(4) 精神保健福祉の理論(2) 特講・社会福祉学(1)
4 年次 (25単位)				児童青年心理学(4) ライフサイクルと福祉心理学(1) 学習心理学(2) 心理療法(4) 犯罪非行心理学(2)	社会保障論(4) 精神医学(4) リハビリテーション論(2) 福祉経営論(2)
合計 (124単位)	18単位	18単位	4 単位	41単位	43単位

*「実験Ⅰ・Ⅱ」よりいずれか 1 科目 2 単位必修、2 科目とも単位修得した場合は 2 単位分を A 群の単位数に含めます。

3 年次編入学者の卒業所要単位は、専門必修科目 18 単位・選択必修科目 2 単位以上・専門選択科目 A 群 34 単位以上・B 群 8 単位以上です。A 群の科目を 34 単位以上修得した場合は、その分 B 群の単位数を減らすことができます。3 年次編入学者の入学 1 年めの学習計画例は、p.58～59 もご覧ください。

■ 3 年次編入学者 履修モデル例

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択必修科目	専門選択科目 A 群	専門選択科目 B 群
3 年次 (34単位)	(18 単位一括認定)	福祉心理学(2) 心理学概論(4) 社会心理学(2) 生涯発達心理学(4)	心理学実験Ⅰ(2)	心理学研究法Ⅱ(2) 家族心理学(2) 産業心理学(2) 人間関係論(1) 教育心理学(2) 人格心理学(4) 心理アセスメント(2) カウンセリングⅠ(1) カウンセリングⅡ(1) 特講・福祉心理学(1)	(44 単位一括認定) リハビリテーション論(2)
4 年次 (28単位)		心理学研究法Ⅰ(2) 臨床心理学(4)	心理学実験Ⅱ(2)	児童青年心理学(4) 老年心理学(4) ライフサイクルと福祉心理学(1) 心理療法(4) 犯罪非行心理学(2) 特講・福祉心理学(1)	福祉法学(2) 統計情報を見る眼(2)
合計 (124単位)	18単位	18単位	4 単位	34単位	50単位

3 福祉心理学科 学習計画例

(1) 仙台会場でのスクーリング受講が難しい場合の学習について

福祉心理学科を卒業するにあたって、「心理学実験Ⅰ」「実験Ⅱ」のいずれか1科目は会場スクーリングを受講する必要がありますが、「実験Ⅰ」は仙台以外では2017年度に札幌、2018年度に東京で開講予定です。また、「心理学概論」「カウンセリングⅠ」「社会心理学」など一部の科目は札幌や東京でも開講される年度があります。また、「心理学研究法Ⅰ」「福祉心理学」や一部の特講科目など p.10の科目はオンデマンド・スクーリングを開講しています。

そのため、3年次編入学者は**東京または札幌で開講されるスクーリングとオンデマンド・スクーリングを併用すれば、仙台に来ることなく卒業に必要なスクーリング単位15単位を修得できます。**
1年次入学者も社会福祉系科目のスクーリングやオンデマンド・スクーリングを利用すれば、仙台に来ることなく卒業に必要なスクーリング単位30単位を修得できます。

なお、認定心理士取得希望者は「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」の4科目の単位修得が必要になるため、「心理学実験Ⅱ」（4日間）、「心理学研究法Ⅱ」（2日間）のスクーリングは仙台での受講が必要です。

(2) 3年次編入学者の学習計画例

この学習計画例は、「4月生・仙台でスクーリングを受講する場合」の一例です。履修登録科目、スクーリング受講会場、オンデマンド・スクーリング利用の有無、科目修了試験での単位修得により、さまざまなケースが考えられます。

入学1年めの履修科目を①福祉心理学、②教育心理学、③カウンセリングⅠ、④社会心理学、⑤生涯発達心理学、⑥心理学実験Ⅰ、⑦家族心理学、⑧特講・福祉心理学Ⅷ（ストレスとつきあう心理学）、⑨カウンセリングⅡ、⑩産業心理学、⑪人格心理学、⑫心理学研究法Ⅱ、⑬心理アセスメント、⑭心理学概論、⑮リハビリテーション論、⑯人間関係論の16科目34単位とした場合は、下記のような例が考えられます。

この例では1年間でスクーリング単位（S単位）が12単位修得できます。卒業までにはスクーリング単位を15単位以上修得する必要があります。

●福祉心理学科3年次編入学者1年めの学習計画例（4月生・仙台でスクーリングを受講する場合の一例）

科 目 名	修得単位数		スクーリング 受講日	レポートA (1・2単位め)	レポートB (3・4単位め)	科目修了試験 受験日
	科目単位	スクーリング 単位				
福祉心理学	2	1	5/20・21	6月中旬	—	—
教育心理学	2	—	—	6/7	—	6/24
カウンセリングⅠ	1	1	6/10・11	—	—	—
社会心理学	2	1	7/1・2	8月上旬	—	—
生涯発達心理学	4	—	—	7/12	—	7/29
心理学実験Ⅰ	2	1	8/18～21	9月中旬	—	—
家族心理学	2	—	—	8/16	—	9/3
特講・福祉心理学8 (ストレスとつきあう心理学)	1	1	10/14・15	—	—	—
カウンセリングⅡ	1	1	10/28・29	—	—	—
人格心理学	4	—	—	11/15	—	12/3
産業心理学	2	1	11/11・12	12月上旬	—	—
心理学研究法Ⅱ	2	1	12/16・17	1月上旬	—	—
心理アセスメント	2	1	12/23・24	1月下旬	—	—
心理学概論	4	2	1/6～8	2月上旬	—	—
リハビリテーション論	2	—	—	2/7	—	2/25
人間関係論	2	1	2/17・18	—	—	—
合 計	34	12				

※ スクーリング受講日が変更となる場合がありますので、入学後『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

※この例では、スクーリング受講を予定していない科目であっても、仙台会場のスクーリングやオンデマンド・スクーリングの受講が可能です。自分に合った学習計画を立ててください。

履修登録

履修登録とは……履修（学習）を希望する科目を届け出ることです。履修登録を行った科目について、教科書を送付します。履修登録をしていないと、その科目の学習ができませんので、早めに履修登録しましょう。

- ・正科生が履修登録した科目は次年度以降も継続されますので、進級時には新たに追加する科目のみを履修登録します。年度を越えて、継続学習できるのも通信教育の特徴です。
- ・正科生が学費の範囲内で履修登録できるのは40単位までです。50単位まで履修は可能ですが、超過履修費（1単位あたり5,000円）が必要です。

レポート学習

レポートとは……レポートには説明や報告といった意味があります。教科書等による学習を通じて学んだことを教員へ説明し、その学習自体を教員へ報告するものです。また、レポートには大きく分けて次の2種類があります。

- ・説明型レポート……語句や用語の説明を求めます。
- ・論述型レポート……レポート課題に対して、教科書を読み2,000字程度で述べてください。主として下記の4点でまとめます。

1. 序論

このレポートは、何について書かれたものなのかを記載します。例えば、レポート課題の繰り返しになっても構いません。または、レポート課題を自分なりに噛み砕いて説明するのも良いでしょう。序論は、あまり長く記載する必要はありません。

2. 本論

学説や用語を調べる・調査する等して記載してください。その際に、社会的な事例（ニュースや新聞）と絡めて記載できると、その課題について十分な理解をしていることが担当教員へ伝わります。さらに、身近な事例（職場や家庭など自身の経験）と絡めての記載も、理解度を示すことになります。

3. 結論

ここでは、このレポートを通じて「何がわかったのか」を記載してください。それは、感想ではなく、課題を通じて学んだことを伝えてください。

4. 引用・参考文献

レポートでは、論理的な記述が求められます。そのため、論じた内容について、教科書を含めて根拠となる文献や新聞、法令、その他の先行研究を記載してください。

- ・レポート課題については、本学ホームページの「レポート課題一覧」より閲覧できます。
- ・レポートは、パソコン等で作成・印刷して提出できます。なお、一部の科目では、教育効果を考えて手書き提出を求めています。
- ・その他、スクーリング受講者には一部の科目で「別レポート（選択問題等）」があります。

科目修了試験

科目修了試験とは……定期試験のことです。レポート提出した科目の受験が可能で、試験に合格することで単位を修得します。また、下記のような特徴があります。

- ・2017年度は8回の試験を予定しており、1回の試験で4科目まで受験できます。
- ・受験の条件は、その科目のレポート提出です。
- ・大半の科目は論述式問題で、当日配布される試験問題は持ち帰りできます。
- ・合格率は、約80%と高水準。なお、スクーリング試験の合格率は約98%です。

2017年度 科目修了試験日程（予定）

回	レポート提出期限 申込締切日	実施・集合日時	開 催 地
第1回	4/26(水)必着 または 4/22(土)消印有効	5/13(土)13:30～	盛岡・山形・福島・東京・長岡・静岡
		5/14(日)9:45～	仙台・札幌・青森・秋田・東京・新潟・大阪
第2回	6/7(水)必着 または 6/3(土)消印有効	6/24(土)13:30～	仙台・旭川・釧路・青森・秋田・宇都宮・東京・横浜・長岡・大阪・那覇
		6/25(日)9:45～	盛岡・山形・郡山・水戸・東京
		6/25(日)13:30～	札幌・新潟
		6/25(日)16:30～	仙台（当日のスクーリング受講者のみ受験可）
第3回	7/12(水)必着 または 7/8(土)消印有効	7/29(土)13:30～	仙台・札幌・盛岡・いわき・東京・静岡・広島
		7/30(日)9:45～	函館・八戸・酒田・東京・名古屋
		7/30(日)16:30～	仙台（当日のスクーリング受講者のみ受験可）
第4回	8/16(水)必着 または 8/12(土)消印有効	9/2(土)13:30～	札幌・盛岡・山形・福島・東京・横浜・静岡・福岡
		9/3(日)9:45～	仙台・帯広・青森・秋田・宇都宮・東京・新潟・長野・大阪
第5回	10/4(水)必着 または 9/30(土)消印有効	10/21(土)13:30～	仙台・旭川・釧路・盛岡・水戸・東京・長岡・名古屋・富山・広島・那覇
		10/22(日)9:45～	札幌・青森・秋田・山形・郡山・東京・新潟・大阪
		10/22(日)16:30～	仙台（当日のスクーリング受講者のみ受験可）
第6回	11/15(水)必着 または 11/11(土)消印有効	12/2(土)13:30～	札幌・青森・宮古・酒田・小山・東京・長岡・静岡
		12/3(日)9:45～	仙台・盛岡・郡山・東京・新潟・福岡
第7回	12/13(水)必着 または 12/9(土)消印有効	1/13(土)13:30～	仙台・札幌・盛岡・山形・東京・長野
		1/14(日)9:45～	函館・帯広・青森・秋田・福島・いわき・宇都宮・東京・新潟・大阪
第8回	2/7(水)必着 または 2/3(土)消印有効	2/24(水)13:30～	旭川・青森・秋田・郡山・東京・静岡・大阪
		2/25(日)9:45～	仙台・札幌・盛岡・山形・東京・新潟

※地域別の入学者数を鑑み、下記の会場は2018年度以降いずれかの時点で廃止される可能性が高いものです。ご了承のうえ、ご入学をお願いいたします。 那覇・福岡・広島・名古屋・富山・長野・宮古

スクーリング

スクーリングとは……講義を本学や地方会場で受講することです。1科目あたり2～4日間（科目によって異なる）の集中講義です。

スクーリングは、1科目あたり5,000～10,000円の受講料がかかります。

〈スクーリング受講のメリット〉

- (1) 講義を聞くことで科目内容についての考えを深められる。
- (2) 教科書を読むポイントがわかり、レポートをまとめやすくなる。
- (3) 一部科目の一部課題については、○×式・穴埋め式などのスクーリング受講者専用「別レポート」の提出が可能となる。
- (4) 卒業に必要なスクーリング単位が修得できる。
- (5) 共に学ぶ学友ができて、在宅学習の励みとなる。

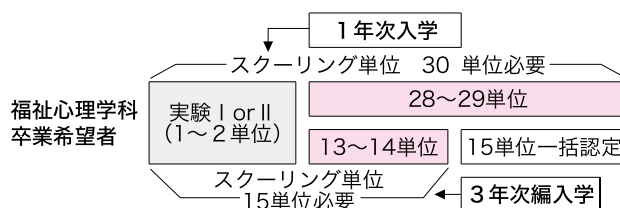
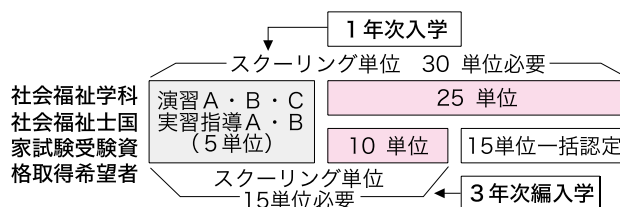
1 スクーリング受講計画の立て方

どの科目のスクーリングに出席するかは、ご自身で計画をたてることになります。

勤務や家庭の都合に合わせて、主に週末を用いた会場のスクーリングを中心に受講することもできますし、オンデマンド・スクーリングを中心に受講することもできます。

受講計画のためには、下記の点にご留意ください。

- (1) 卒業までに必要なスクーリング単位を修得することが必要です。
- (2) 演習や実験科目などは、必ず会場のスクーリングを受講する必要があります。
- (3) 社会福祉士国家試験受験資格取得希望者で実習受講が必要な場合は、図のように演習・実習指導科目でスクーリング単位5単位分の会場スクーリング受講が必要となります。卒業に必要な残りのスクーリング単位は、自分で選択して受講してください。
- (4) 福祉心理学科を卒業するためには、卒業までに「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」いずれか1科目のスクーリング受講が必要となります。卒業に必要な残りのスクーリング単位は、自分で選択して受講してください。



□ = 決められた科目で受講すべきスクーリング □ = ご自分の希望する科目で受講できるスクーリング

【10月生としてご入学をお考えの方へ】

- (1) 10月1日以降のスクーリングから受講が可能です（p.66～67も参照）。翌年4月以降のスクーリング開講予定は毎年12月ごろから順次発表されます。
- (2) 社会福祉士実習受講者の事後指導スクーリングは、最短修業年限での9月卒業の場合、仙台でのみの受講となります。

2 スクーリングはさまざまな形で受講できます

本学では、下記のような4つの形でスクーリングが受講できます。開講の1カ月前までなど事前の申込みが必要です。

会場で受講するスクーリング

(1) 通常のスクーリング

会場で直接講義を受講するもので、ほとんどのスクーリングがこの方法で開講しています。開講場所は仙台が多くなりますが、札幌・盛岡・東京・新潟でも開講されます。

(2) ビデオ・スクーリング

一部の科目について、講義を録画したものを会場で視聴します。ビデオ・スクーリングによるスクーリング単位は、10単位までが卒業に必要なスクーリング単位として認められます。

(3) 単位互換協定の連携を行う他大学の講義受講によるスクーリング

本学と単位互換協定を締結している産業能率大学の自由が丘キャンパス（東京都世田谷区）で週末に実施されるスクーリングを受講し、修得した単位を本学の授業科目とみなし、卒業に必要な単位に算入できる制度です。関東地方にお住まいの方にはスクーリング受講の機会が増えますので、ご利用ください。申込時期は前期分3月、後期分9月を予定しています。

【会場スクーリング開講予定 p.66～67参照（変更の可能性あります）】

最新情報は、本学ホームページ等でご確認ください。また、入学者は入学後に送付される『試験・スクーリング情報ブック』や1～2カ月に一度発行される学生向け機関誌『With』で必ずご確認ください。

【会場スクーリング申込・受講上の留意点】

- ・ 受講を申込んだ科目については、開講予定日記載の2～4日間の出席が必要となります。遅刻や一部欠席は認められません。
- ・ 仙台会場の標準的な時間割例（ただし、下記と異なる時間割の場合も多くあります）
(3日間・12コマ)
1日め 10:30～17:40 2日め 8:50～17:40 3日め 8:50～14:20
(2日間・8コマ)
1日め 10:30～17:40 2日め 9:10～16:20
- ・ 同一日時に開講されている科目はいずれか1科目しか受講できません（p.66記載の例外を除く）。
- ・ 同じ科目で開講日程が複数記載の科目は、いずれかを受講すればよいものです。
- ・ 開講地のあとに記載のVTRは、ビデオ・スクーリングを示します。
- ・ 主な開講予定会場（他の会場で開講される場合もあります）
仙台 本学仙台駅東口キャンパス（ただし、国見キャンパスなどの場合もあります）
札幌 かでる2・7
盛岡 アイーナ
東京 本学 東京サテライト（四ツ谷）

参考 コマとは？

本学のスクーリングの授業は、1時限が90分間となっています。90分授業の1回分を「1コマ」と呼んでいます。会場スクーリングでは、同じ科目の授業を「8コマ」または「12コマ」連続で受けることになります。

Web 上で受講可能なスクーリング

(4) オンデマンド・スクーリング

録画した講義動画を Web 上で受講するものです。受講可能な科目は、p.10のとおり40科目以上あります。

科目ごとに決められた視聴期間（1 カ月間程度）が設定されています。視聴期間内ならば24時間視聴可能です。試験は在宅試験となり、視聴期間終了日正午までにメールまたは Web 上で提出します。

A D S L または光ファイバーなどのインターネット回線に接続されたパソコンが必要です。スマートフォン、タブレット等では受講できません。また、**パソコンの基本的操作ができることが必要です（パソコン操作に関するサポートはできません）。**

【オンデマンド・スクーリングの受講スケジュール例（2016年度実績）】

科 目 名	申込締切日 ¹⁾	受講開始日 ²⁾	スクーリング試験 提出締切日(正午) ³⁾	別レポート解答期限 ⁴⁾
社会福祉援助技術総論	4 月 3 日	4 月14日	5 月13日	5 月23日
福祉心理学	4 月17日	4 月28日	6 月 3 日	6 月13日
ボランティア論	5 月 1 日	5 月12日	6 月10日	6 月20日

1) 申込締切日までにWeb上で申込み。

2) 受講開始日より資料のダウンロード、講義視聴およびWeb別レポート解答が可能です（24時間視聴可能）。

3) すべての講義視聴後、試験提出締切日までに、スクーリング試験の解答をWordファイルに作成しメール添付して提出します（一部科目は試験の実施方法が異なります）。

4) 別レポートのある科目は解答期限までWeb上で解答できます。

■推奨するパソコンや通信環境・設定

【視聴するパソコンの環境】

OS : Windows Vista、7、8、10

※ Windows10は Internet Explorer11の利用に限ります（Microsoft Edge は動作保証対象外となります）。

ブラウザ : Internet Explorer 8.0以上

FLASH : Adobe Flash Player 9.0. 124以上（最新版を推奨）

【視聴するパソコンの設定】

1) Adobe Flash Playerがインストールされていることが必要です。

2) Microsoft Internet Explorerをお使いください（Ver 8.0以上）。

3) Java Scriptを有効にして使用してください（通常は購入時のパソコンはJava Scriptは有効です）。

4) Cookieを有効にして使用してください（通常は購入時のパソコンはCookieは有効です）。

5) ポップアップブロックを無効にしてください。または、www3.netrecorder.jpのポップアップを許可するサイトとして登録してください。

【通信の環境】

回線速度 : 5 Mbps以上推奨（2 Mbps必要）

※有線LAN推奨。無線経由の場合は回線状況によって切断が発生する場合があります。

※Proxyサーバを経由する場合はProxyサーバの種類や設定内容によっては動作しない場合があります。

※インターネット回線利用のため、100%の動作保障はできません。まれに、視聴管理機能や問題解答送信機能について、順調にいかない事例が報告されています（1,000～2,000クリックに1回程度）。

【その他の注意事項】

Mac (OSX) も視聴はできますが、すべての動作確認は未了で、利用できない機能がある可能性があります。

(推奨) Mozilla Firefox 4.0以上、Google Chrome、Safari 5 以上またはOpera11

※上記の動作環境は、2016年10月時点のものです。今後変更となる場合がありますので、ご了承ください。

4 スクーリングに関する問い合わせ

Q1 仙台在住ですが、会場スクーリングのみで卒業に必要な30単位以上のスクーリング単位を修得できますか。

A. 修得できます (1年次入学、2・3年次編入学者いずれも)。

Q2 オンデマンド・スクーリングのみで卒業に必要な30単位以上のスクーリング単位を修得できますか。

A. **社会福祉学科** 修得できます (1年次入学、2・3年次編入学者いずれも)。ただし、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者は、一部の科目 (演習や実習指導科目) で会場スクーリング受講が必須になります。

福祉心理学科 すべての修得はできません。卒業のみ希望の場合は1科目 (「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」のいずれか)、認定心理士を取得希望の場合は3科目 (「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」「心理学研究法Ⅱ」)、会場でのスクーリング受講が必須です。

Q3 関東在住ですが、東京会場のスクーリングのみで卒業に必要な30単位以上のスクーリング単位を修得できますか。

A. **社会福祉学科** 社会福祉士国家試験受験資格取得希望者は修得できます (1年次入学、2・3年次編入学者いずれも)。ただし、10月生で最短年限での卒業希望者は、仙台会場のスクーリング受講が必須です。また東京会場の演習・実習指導科目スクーリングが定員を超えた場合は他会場で受講の可能性があります。精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者は、仙台会場のスクーリング受講が必要になります。

福祉心理学科 すべての修得はできません。オンデマンド・スクーリングや仙台会場のスクーリングを併せて受講することが必要になります。p.58も参照ください。

Q4 北海道在住ですが、札幌会場のスクーリングのみで卒業に必要な30単位以上のスクーリング単位を修得できますか。

A. **社会福祉学科** 社会福祉士国家試験受験資格取得希望の方は、3年次編入学者のみ修得できます。1・2年次 (編) 入学者、10月生で最短年限での卒業希望者は、仙台会場のスクーリングやオンデマンド・スクーリングの受講が必須です。また札幌会場の演習・実習指導科目スクーリングが定員を超えた場合は他会場で受講の可能性があります。精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者は、仙台会場のスクーリング受講が必要になります。

福祉心理学科 すべての修得はできません。オンデマンド・スクーリングや仙台会場のスクーリングを併せて受講することをお奨めいたします。p.58も参照ください。

1 2017年度 スクーリング開講予定 (2017年4月～2018年3月)

このスクーリング開講予定は、変更される場合があります。ご入学後に配付される『試験・スクーリング情報ブック』や『With』等を確認しお申込みください。

※「演習」「実習指導」科目は、社会福祉士 (p.72～80)・精神保健福祉士 (p.100～109) のページをご覧ください。

※開講予定日：aは午前中に終了、bは午後から開講となり、同日に受講が可能です。

■社会福祉士指定科目 (精神保健福祉士共通科目含む)

科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数	科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数			
社会福祉原論	8/11～13	仙台	2	12	保健医療サービス論	11/11・12	仙台	1	8			
	10/7～9	札幌				7/8・9	札幌					
	1/6～8	盛岡 VTR				4/15・16	新潟					
	11/3～5	東京			社会福祉援助技術総論	5/3～5	仙台	2	12			
	8/18～20	新潟 VTR				11/11・12・23	仙台 VTR					
地域福祉論	1/6～8	仙台	4/30・5/6・7	札幌 VTR								
	8/11～13	札幌	5/5～7	東京 VTR								
	8/18～20	東京	7/21～23	新潟 VTR								
社会保障論	10/7～9	仙台	2	12	社会福祉援助技術論 A	5/26～28	長岡 VTR	1	6			
	3/21・24・25	仙台 VTR				7/15・16a	仙台					
	11/3～5	札幌 VTR				10/7・8a	東京					
	12/15～17	東京				9/29・30a	新潟 VTR					
	6/2～4	新潟 VTR			社会福祉援助技術論 B	7/16b・17	仙台	1	6			
公的扶助論	4/22・23	仙台	10/8b・9	東京								
	9/23・24	盛岡	9/30b・10/1	新潟 VTR								
	5/27・28	東京	社会調査の基礎	9/30・10/1	仙台	1	8					
	5/27・28	新潟 VTR		4/15・16	札幌 VTR							
福祉法学	6/10・11	仙台		11/18・19	新潟 VTR							
	10/28・29	東京	福祉経営論	5/27・28	仙台	1	8					
	7/15・16	新潟 VTR		11/25・26	東京 VTR							
福祉社会学	7/15～17	仙台	2	12	高齢者福祉論	4/22・23	仙台	1	8			
	9/16～18	札幌				3/17・18	札幌					
福祉心理学	5/20・21	仙台	1	8		介護概論	3/10・11			盛岡	1	6
	2/3・4	仙台 VTR	1	6			7/22・23			東京		
	11/25・26	札幌 VTR			12/16・17		仙台					
	2/17・18	盛岡 VTR			7/22・23		札幌					
	6/3・4	東京 VTR			9/23・24	新潟						
	6/24・25	新潟 VTR			6/3・4	盛岡 VTR						
医学一般	10/21・22	仙台	1	8	児童・家庭福祉論	11/3～5	仙台	2	12			
	6/17・18	東京				1/6～8	札幌					
	11/18・19	盛岡 VTR				10/7～9	盛岡					
福祉行財政と福祉計画	6/17・18	仙台	1	8		更生保護制度論	1/6～8			東京	1	6
	5/20・21	盛岡					9/16～18			新潟		
	11/18・19	東京			1/27・28		仙台	1	8			
	5/20・21	長岡 VTR			7/29・30	新潟 VTR	1	6				
障害者福祉論	8/19～21	仙台	2	12	就労支援サービス論	7/22・23	仙台	1	8			
	2/10～12											
	9/16～18	東京										
	9/9～11	新潟										

■精神保健福祉士指定科目（専門）

科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数
精神医学	5/26～28	仙台	2	12
精神保健学	12/16・17	仙台	1	8
精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	4/22・23	仙台	1	8
精神保健福祉援助技術総論Ⅱ	7/22・23	仙台	1	8
精神保健福祉援助技術各論	9/23・24	仙台	1	8

■共通基礎科目

科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数
ボランティア論	未定	仙台	1	8
科学的な見方・考え方	9/22～24	仙台	2	12
基礎演習	6/3・4	仙台	1	8
	12/9・10	仙台		
情報処理Ⅰ	未定	仙台	1	12
福祉と経済	5/26～28	仙台	2	12

■社会福祉学系科目

科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数
発達障害者の地域支援	未定	仙台	1	8
知的障害者福祉論	未定	仙台	1	8
発達障害者の理解と支援	未定	仙台	1	8
ケアマネジメント論	10/28・29	仙台	1	8
NPO論	未定	仙台	1	8
リハビリテーション論	未定	仙台	1	8
家族法	2/10～12	仙台	2	12
社会福祉法制	11/3～5	仙台	2	12

■心理学系科目

科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数
心理学概論	1/6～8	仙台	2	12
	7/15～17	札幌		
心理学実験Ⅰ	8/18～21	仙台	1	13
	11/3～5	札幌		
心理学実験Ⅱ	8/9～12	仙台	1	13
心理学研究法Ⅰ	6/17・18	仙台	1	8
心理学研究法Ⅱ	8/22・23	仙台	1	8
	12/16・17	仙台		
社会心理学	7/1・2	仙台	1	8
	3/17・18	東京		
家族心理学	12/9・10	仙台	1	8
産業心理学	11/11・12	仙台	1	8
人間関係論	2/17・18	仙台	1	8
環境心理学	6/3・4	仙台	1	8
生涯発達心理学	11/3～5	仙台	2	12
児童青年心理学	7/21～23	仙台	2	12
老年心理学	未定	仙台	2	12
	8/7～9	新潟 VTR		
教育心理学	11/25・26	仙台	1	8

科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数
精神保健福祉の理論	4/15・16	仙台	1	8
精神科リハビリテーション学	7/15～17	仙台	2	12
精神保健福祉のサービス	7/1・2	仙台	1	8
精神保健福祉の制度	11/11・12	仙台	1	8

科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数
人間と教育	6/16～18	仙台	2	12
政治学の基礎	未定	仙台	1	8
人権と福祉	11/18・19	仙台	1	8
社会福祉学入門	12/23・24	仙台	1	8
コミュニケーション英語	未定	仙台	1	12

科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数
介護技術	11/11・12	仙台	1	6
特講・社会福祉学 1 (介護保険と社会福祉士の課題)	6/24・25	仙台	1	8
特講・社会福祉学 10 (スクール・ソーシャルワーク論)	3/3・4	仙台	1	8
特講・社会福祉学 13 (福祉産業論)	未定	仙台	1	8

科 目 名	開講予定日	開講予定地	S単位	コマ数
障害児の心理	9/16～18	仙台	2	12
心理アセスメント	12/23・24	仙台	1	8
	11/25・26	新潟 VTR	1	6
臨床心理学	5/3～5	仙台	2	12
	8/5～7	東京		
	未定	新潟		
心理療法	7/15～17	仙台	2	12
犯罪非行心理学	8/26・27	仙台	1	8
カウンセリングⅠ	6/10・11	仙台	1	8
	1/27・28	東京		
カウンセリングⅡ	10/28・29	仙台	1	8
カウンセリング演習Ⅰ	1/20・21	仙台	1	8
カウンセリング演習Ⅱ	9/9・10	仙台	1	8
認知心理学	5/3～5	新潟 VTR	2	12
学習心理学	11/18・19	仙台	1	8
特講・福祉心理学 4 (スクール・カウンセリング)	5/27・28	仙台	1	8
特講・福祉心理学 8 (ストレスとつきあう心理学)	10/14・15	仙台	1	8

実習・卒業

1 実 習

実習は卒業に必須の科目ではありません。社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者のみが受講します。詳細は下記のページをご覧ください。

- 社会福祉援助技術実習について……………p.72～93
- 精神保健福祉援助実習について……………p.94～113

2 卒 業

- ・1年次入学者は、4年以上在学したうえで、p.28～29の要件を満たしつつ124単位以上修得し、かつスクーリング単位を30単位以上修得し、「卒業試験」または「卒業研究」に合格すれば卒業が可能です。「卒業研究」（卒業論文の執筆）は、卒業に必須の科目ではありません。
- ・2年次編入学者の卒業要件は p.29を、3年次編入学者の卒業要件は p.30～31をご覧ください。
- ・卒業時期は3月または9月となります（たとえば4月入学の3年次編入学者が2年後の3月に卒業できなかった場合は、9月に卒業することも可能です）。

参考 単位とは

- (1) 大学では、各科目ごとに2単位、4単位、8単位などの単位数が決められています。各科目の単位数は「授業科目一覧」（p.47～50、54～56）をご覧ください。1単位あたりの学習時間は45時間が目安です。
- (2) 「スクーリング単位」とは、スクーリングを受講すると修得できる単位で、「科目単位」とは別々に計算していきます。

スクーリング単位と卒業要件

通信教育部を卒業するためには、下記のスクーリング単位を修得することが必要です。

- ・1年次入学者 30単位以上
- ・2年次編入学者 22単位以上
- ・3年次編入学者 15単位以上

卒業までに計画的にスクーリング単位を修得することが必要となります。「オンデマンド・スクーリング」「他大学との単位互換によるスクーリング」は、すべてスクーリング単位として認められます。

「ビデオ・スクーリング」によるスクーリング単位は、10単位までが卒業に必要なスクーリング単位として認められます。

スクーリングを受講して、その科目の単位を修得した場合、「科目単位」とは別に「スクーリング単位」も付与されるとお考えください。

最短修業年限で卒業するためには、1年間に平均して8単位以上（12日間以上）のスクーリング単位の修得が目安になります。

具体例	科目単位	スクーリング単位
「福祉社会学」SRで単位修得（スクーリング+レポート）	4	2
「障害者福祉論」Rで単位修得（レポート+科目修了試験）	4	0
⋮	⋮	⋮
卒業要件 1年次入学者 （3年次編入学者）	124単位 （62単位）	30単位 （15単位）

スクーリングでは、どのようなことを学ぶのでしょうか。ここでは、スクーリングを受講した学生の方々にお書きいただいたアンケートから社会福祉学系の講義の感想を抜粋してみました。

●福祉社会学 赤塚俊治教授

- ・自分の身の周りに起きていることを色々な視点から見ることで感じるとともに、自ら世の中で起きていることに興味を持つこと、物事の裏に潜む問題にも目を向けることが重要であることを学びました。
- ・人との関わりの中で社会がかたち作られていくということを、先生の熱い講義の中で強く学び取ることができたと感じます。

●社会保障論 阿部裕二教授

- ・木を見るだけでなく、森を見て考えることの大切さを学びました。制度別に見るだけでなく、それぞれの制度は密接に関わりあっていること、そのbetter な内容は？などという考え方が学べたところがとても勉強になりました。

●社会福祉原論 田中治和教授

- ・社会福祉への考え方だけでなく、言葉の受け取り方、まとめ方、ものの見方、考え方を示してくださる貴重な授業でした。私自身の社会福祉観を、先生の講義を通じながら深めていきたいと思っています。

●地域福祉論 柴田邦昭講師ほか

- ・震災後、地域の関わりの重要性について強く感じるようになりました。どの福祉分野でも、そこに地域が結びついたとき、人々は本当の意味でのノーマライゼーションを実現し、質の高いQOLの実現となるのではないかと講義を通して考えました。

●社会福祉援助技術総論 佐藤博彦助教

- ・「専門知識・技術は自分のためではなく相手（利用者）のために身につけるもの」という言葉に意欲がわきました。

●高齢者福祉論 中里仁講師ほか

- ・高齢者特有の課題を認識することができてよかった。老後のさまざまな問題は個人的な範囲を超えて社会全体の問題であり、我々一人一人が声をあげなければならないと考えさせられた。

●介護概論 後藤美恵子准教授

- ・ターミナル期の介護も含め、生きていてよかったと利用者に感じてもらえる、世界一の長寿国であると発信できる仕組みづくりが求められていると分かりました。また、支援の際下された自己決定が利用者の適切な判断の結果かどうか、真の自己決定なのか、もう一度考える必要性があると強く感じます。

●児童・家庭福祉論 千葉喜久也講師

- ・先生の「自己の経験や体験は、福祉職を行うにあたっての全ての実践にはならない。プロとして事実を客観的に見つめる目が必要。」という言葉は、とても心に響いた。事実を客観的に見つめ、クライアント自らの持てる力を使って生きていけるよう、溺れず流されない、タフなソーシャルワーカーを目指していきたい。

●障害者福祉論 横山英史講師ほか

- ・講義で行われた「優生思想」と「社会防衛思想」について、自らの胸に問いかける作業は、印象深い経験でした。自らの障害者に関する考え方の本質を見つめる作業になり、気づきを得たと感じます。

●福祉法学・更生保護制度論 菅原好秀准教授

- ・社会は様々な価値観で成立していて、それを認め合うことが大切であることを学び、自分自身の価値観を人に押し付けていないか、自分を見直す良い機会になったように感じます。
- ・今の情報に溢れた社会の中で、よい距離感をもつての社会的関係を築いていくことの難しさ、そうした社会での法の役割の変化など、様々なことを考えさせられました。

●精神保健福祉のサービス 阿部正孝教授

- ・「当事者が主役」、「生活の中で生きるとは」の意味について丁寧にわかりやすく説明していただき、心に染み入る内容でした。
- ・精神保健福祉のサービスに関する知識以外にも当事者をどのように支援するのかの深い意識や考え方、当事者や社会環境への見方へのヒントを数多く頂きました。

心理学系や幼保特例講座の科目の講義の感想を抜粋してみました。

●福祉心理学 渡部純夫教授

- ・反社会的生きがいについて学び、とても新鮮でした。日ごろのソーシャルワーク活動の中でも、その生きがいがある人にとってどんな意味があるのか理解することが、その人そのものの理解につながるのだろうと感じました。

●心理学概論 佐藤俊人准教授

- ・心理学は日常生活の中で幅広く応用されている事に改めて気が付かされました。今回の講義で心理学を身近に感じることができ、心理学を活用した人間理解の必要性と可能性を感じることができました。

●心理学実験Ⅰ・Ⅱ 中村修准教授ほか

- ・錯視について考えさせられました。日常生活の中にも、思いもしなかった研究の糸口や、ヒントが隠されているのかなと感じておもしろかったです。

●臨床心理学 清水めぐみ講師ほか

- ・「クライアントが自分で考え、感じ、行動する」ということが援助の際に目指すものであるという事を改めて考えさせられました。
- ・心理アセスメントも、心理療法も、社会福祉における対人援助についても、クライアントとのラポール形成が何よりも大切であることを学びました。

●社会心理学 吉田綾乃准教授

- ・人は他者があるがままにではなく、見たいように見る「対人認知の歪み」が印象に残りました。
- ・まわりの他者からかなりの影響を受けて生活をしているということがわかりました。

●人間関係論 山口奈緒美講師

- ・仕事で行っていた人間関係の構築方法や誘導方法が、相手の心理や受け取り方をふまえた方法であったことが再確認できた。

●心理アセスメント 渡部純夫教授

- ・異常を異常としてみるのではなく、異常を正常として捉える新しい視点を学び、考えさせられました。異常を正常としてみることであれば、いじめも減るかもしれないと感じます。

●認知心理学 西林克彦教授

- ・「わかったつもり」とは何か、「わかる」とはということか分かりました。自分の人生はこれまで「わかったつもり」だらけだったということも実感しました。そして、答えは1つではなく、絶対的に「正しい」ものはないということ。これからの自分の可能性も色々あるといいなと思いました。

●教育心理学 白井秀明准教授

- ・相手の学びを引き出す時には、その前に相手をよく知り、どのようなヒントやきっかけを使えば、その学習が進むのかを段階を踏んで提供していく必要があると思いました。

●学習心理学 柴田理瑛助教

- ・学習とは良いことも悪いことも全て学習なのということ。一度学習したことは良いことでも悪いことでも記憶に残り、なかなか消せないということが印象深かったです。
- ・学習していく、記憶に残すためにどのような働きかけが有効なのか考えさせられました。報酬のあり方やエピソード記憶の活用についても考えていきたいと思いました。

●老年心理学 吉川悠貴講師

- ・認知症の方との関わり方などとてもわかりやすくとても心に残りました。また、認知症についていろいろな誤解を解くことができました。

●カウンセリングⅠ 末富美貴講師

- ・カウンセリングとセラピーに明確な違いがあることを意識していなかったのが、本講義で知ることができてよかったです。自分が何を目指したいのか明確になりました。

●乳児保育(幼保特例講座科目) 富澤弥生准教授

- ・幼稚園にて幼児教育に関わってきて、「教育」を常に意識してきましたが、0歳児・1歳児は保育・福祉の面での配慮が非常に大きなウェイトを占めていることを改めて強く意識することができました。今後の自分の大きな課題です。大変勉強になる講義でした。